

国際ロータリー2560 地区目標

ロータリーで
人生をより充実させよう

高田ロータリークラブ会長方針

一所一期一会

持続可能な
インパクトを
生み出そう

Rotary

国際ロータリー会長 オラインカ・ハキーム・ババロウ

第 2560 地区ガサー 富山 洋

高田ロータリークラブ会長 吉原耕一

幹事 鈴木陽一

広報・会報・雑誌委員会：

阿曾 晋 丸田健一 釜田英一 梅津真揮夫

第 4 回例会 7 月 31 日(金)

No.4

会長挨拶

● 吉原 耕一



皆様、こんにちは。

本日の例会には高田東クラブと系魚川中央クラブよりお客様をお迎えしています。後程、ご挨拶をいただきます。

7 月 28 日に発生しました熊本での地震被害に関しまして、当クラブからも早急に支援金を送らせていただく予定です。会員の皆様のご協力を、よろしくお願いいたします。

さて今日は、高田市の名誉市民第 1 号「国友末蔵」さんについてのお話です。

当クラブ会員の、東北電力ネットワーク株式会社上越電力センター所長の梅津真揮夫さんに卓話をお願いしました。

国友末蔵さんのご努力などで、東北電力の前身の上越電気株式会社が 1907 年（明治 40 年）5 月に高田に電灯をともしてくれます。119 年前のことです。ずいぶん昔のように感じるかもしれませんが、私のおじいさんや、会員の橋本真孝さんのお父さんの代のころのことです。

1886 年（明治 19 年）8 月 15 日の鉄道開通に続いて、高田の街に文明が来た一という感じだったと思います。電気は高田及び上越地域に様々な恩恵をもたらしてくれます。軍隊の誘致成功、今に続く関川水系によりそう工場群などもそうです。

このあたりのお話は、本日の梅津さんの卓話に加え、会員の山田守さんや渡邊隆さんもお詳しいので、ぜひお食事の時や親睦例会の時にお尋ねになってください。

また現在、梅津さんが所長室を構える大町 2 丁目の上越電力センターは、1928 年（昭和 3 年）に上越電気株式会社の後継の中央電気会社本社として落成した高田で最初の、そして現存最古の RC 建築です。100 年建築のとても立派な所長室で、以前は山田さんが、今は梅津さんがそこでお仕事をされています。羨ましい職場環境だと思います。

では、梅津さん本日はよろしくお願いいたします。



出席報告

98.04%

メイクアップ

7/18(土)地区財団セミナー：佐藤 信君
7/19(日)春日山城跡清掃活動：西山要耕君
7/25(土)クラブ活性化ワークショップ：
橋詰敏一君・霜村 浩君・飯塚宏佳君・阿曾 晋君

臨時総会

7 月 31 日(金)規定となる総会の成立を確認後、吉原会長が議長となり臨時総会を開催しました。「2025-

2026 年度決算報告」及び「創立 70 周年記念事業決算報告」について満場拍手にて承認されました。

セレモニー

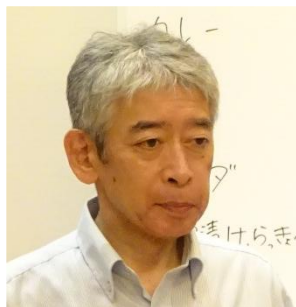
入会式：
伊藤貴行君(衛星クラブ)



ビジター・スピーチ



IM 実行委員長
宮寄富夫様
高田東 RC



IM 副実行委員長
横山 亘様
高田東 RC



森田年度地区副幹事
樺井琢光様
糸魚川中央 RC

ニコニコ BOX 紹介

IM 実行委員長宮寄富夫様/高田東 RC:お世話になっております。10月3日(土)IM・9月26日(土)ゴルフ大会に大勢の皆様のご参加・ご登録をよろしくお願いいたします。

森田年度地区副幹事樺井琢光様/糸魚川中央 RC:7年振りのメイクアップです。よろしくお願いいたします。

飯塚宏佳君:7月14日、川崎の病院にて長女が女の子を無事出産いたしました。私もお爺ちゃんデビューをしましたので、諸先輩方よろしくお願いいたします。

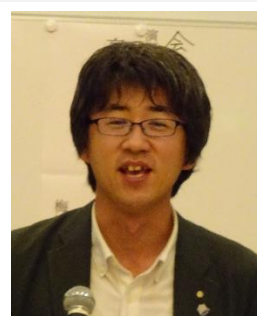
委員会報告



社会奉仕委員会:宮下委員長
令和8年熊本地震における
支援金のお願い

会員インフォメーション

小師智彦君:
9月9日 NST 上越チャリティ
ゴルフ開催のお知らせ



幹事報告

配布物:週報No.3、2025-26 年度会計監査報告書、
ポケット名簿、財団寄付金領収書

回覧物:財団ニュース8月号、NST 上越チャリティ
ゴルフチラシ

会員卓話: 高田名誉市民第一号「国友末蔵」 ～上越の未来を切り開いた電力技術者～



梅津真揮夫君

東北電力ネットワーク株式会社上越電力センター 所長

国友末蔵(1881～1960)は京都帝国大学で電気工学を学び、上越電気株式会社の技師長として上越地域の電力開発を主導した人物です。

1907年には現在も稼働する新潟県内最古の発電所である蔵々発電所の建設に携わり、地域に初めて本格的な電灯をもたらしました。その後も関川水系の開発を進め、1934年には日本初の揚水式発電所である池尻川発電所を完成させるなど、水資源の有効活用に尽力しました。

当時、電力は地域発展の重要な基盤であり、上越地域では豊富な水資源を活かした発電

によって工業振興や企業誘致が進みました。また、発電用水を農業用水として活用し、農村電化の普及にも大きく貢献しました。

こうした功績により、国友は1953年に高田市名誉市民第1号となりました。

彼が築いた電力基盤は、現在の上越地域の産業や暮らしを支える礎となっており、「上越地域電源開発の父」として今なお高く評価されています。

2026年7月31日
高田ロータリークラブ卓話

高田名誉市民第一号 「国友末蔵」

上越の未来を
切り開いた
電力技術者



東北電力ネットワーク株式会社 上越電力センター
梅津 真揮夫

国友末蔵とは



- ・1881年（M14）京都市生まれ
- ・京都帝国大学工学部電気工学科卒業
- ・上越電気株式会社技師長に就任、のちに中央電気株式会社の専務取締役を務める
- ・現存する県内最古の「蔵々発電所」や日本初の揚水式発電となる「池尻川発電所」の建設に従事
- ・上越地域を中心とした電源開発、企業誘致など、この地方の発展に大きく貢献
- ・1953年（S28）高田市の名誉市民第一号の称号を与えられる
- ・1960年（S35）北城の自宅で死去（78歳）



出典：ながれ 上越地方電気事業のあゆみ

現存する県内最古の発電所

●蔵々発電所（妙高市蔵々）

- ・1907年（M40）5月に完成
- ・豪雪地で知られる妙高山麓での建設。未経験な上、冬の自然の猛威にさいなまれて、不測の事態もかなりあった。
- ・「発電機を始め電気製品に芝浦製作所の製品を使用することは心配ないが、ただ電柱が1メートル余の雪に包まれる。あの深い雪の中で1万ボルトの送電ができるであろうか。それが心配でならなかった…」～国友技師長追想文中の記事

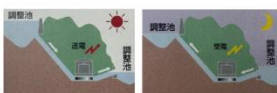


出典：ながれ 上越地方電気事業のあゆみ 【当時の蔵々発電所】

日本初の揚水式発電

●池尻川発電所（長野県信濃町）

- ・1934年（S9）2月に完成
- ・豊水期には関川の水を野尻湖に揚水
- ・冬の渇水期には野尻湖の水が池尻川発電所によって発電、その水が下流の発電所にも有効活用
- ・夏の渇水期にも野尻湖の水により発電、発電に使われた水は農業用水（上江用水や中江用水など）としても使われる
- ・国友末蔵が、1929年（S4）エジソン電灯発明50周年祝典に招かれて渡米、帰路ドイツで揚水式発電を学んだことが役立った。



出典：ながれ 上越地方電気事業のあゆみ

功績と評価

●高田市初の名誉市民

- ・1953年（S28）5月、高田市で最初の名誉市民に推挙

●胸像建立

- ・1957年（S32）、電源開発50周年にあたり、高田公園内に胸像（戸張幸雄作）が建てられた。
- ・1966年（S41）、胸像を含めて「国友末蔵翁頌徳園」が造られ、隣には発電所の水車も置かれている。

●地域史に残る功労者

- ・1982年（S57）には上越市立博物館の企画（郷土先人シリーズ）で「上越地域電源開発の父」国友末蔵展が開催され、観覧者も多く近年にない盛況だった。



18



原野直前幹事・飯塚会計監査・細野 70 周年実行委員会会計より監査報告



入会式：伊藤貴行君/衛星クラブ



本日のお食事
デュオ・セレッソ特製カレー



8 月度例会プログラム

例 会 日	プ ロ グ ラ ム	会 場
8 月 7 日	納涼例会	百年料亭宇喜世
8 月 14 日	祝日振替休会日	—
8 月 21 日	第7 分区ガバナー補佐直前訪問・クラブ協議会	デュオ・セレッソ
8 月 28 日	卓話：日本ワインなでしこ 藤井佳美様 演題：日本ワインの魅力とは	デュオ・セレッソ